

津市立櫛形幼稚園、片田幼稚園及び竹原幼稚園の閉園について

1 櫛形幼稚園及び片田幼稚園の現状

(1) 適正規模に係る実践研究

櫛形幼稚園及び片田幼稚園では、園児数の減少に伴い、平成22年度から3年間、神戸幼稚園において合同保育を実施する「津市立幼稚園の適正規模に係る実践研究」に取り組みました。

本研究の成果としては、合同保育を実施することによって、幼児の活動が多様かつ充実したものになり、幼児にとって望ましい社会性や協調性が身についたことなどがあげられます。

(2) 地域、保護者の声

研究の取組を身近に見てきた保護者からは、幼児が集団で生き生きと活動する姿を見て、大勢で切磋琢磨しながら生活することの大切さを確認することができたとの声が多数ありました。

(3) 入園者の状況

櫛形幼稚園及び片田幼稚園については、平成25年度の入園希望者がなかったことから、現在休園としています。

2 竹原幼稚園の現状

竹原幼稚園については、地域内の児童数の減少に伴い、平成16年4月から休園としています。

3 今後の予定

(1) 望ましい就学前教育のためには、適正規模の園児数が必要であり、地域において園児数の増加が望めない櫛形幼稚園、片田幼稚園及び竹原幼稚園について、平成26年3月31日付けで閉園しようとするものです。

(2) 津市立学校設置条例の一部の改正についての議案を平成25年第3回津市議会定例会に提出する予定です。